（別記１－４様式）

記入例

（一例であり、別様式でも構いません）

○○地区地域資源保全管理構想（案）

（平成○年○月作成）

１．地域で保全していく農用地及び施設

（１）農用地

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 認定農用地面積(集落の管理する農用地） |  | 計 | 遊休農用地 |
| 田 | 畑 | 草地 |
| 　a | a | a | 　a | a |

　　　　※活動計画書（様式1-3号）に記載されている「２．保全管理する区域内の農用地、施設」に記載している「認定農用地面積（集落の管理する農用地）」の農用地面積を記入して下さい。不用な項目（地目）は、削除して下さい。

（２）水路、農道、ため池

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 農業用施設 | 水路 | 農道 | ため池 |
| 開水路 | パイプライン |
| 　km | km | km | 　箇所 |

　　　　※活動計画書（様式1-3号）に記載されている「２．保全管理する区域内の農用地、施設」に記載している「農業用施設」の延長、箇所数を記入して下さい。不用な項目（施設）は、削除して下さい。

（３）その他施設等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| その他施設　　　　 | 鳥獣害防護柵 | 防風ネット | 揚水ポンプ | ○○○○ |
| 　km | 　km | 台 | ○ |

　　　　※上記（２）以外に鳥獣害防止施設、防風林等その他の地域で保全管理していく施設について記入して下さい。不用な項目（施設）は、削除して下さい。

２．地域の共同活動で行う保全管理活動

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 活動項目 | 取組 | 実施時期 |
| （１）農用地 | 点検 | 遊休農地等の発生状況、対象施設における泥の堆積状況等を点検し、毎年記録管理する。 | 毎年○回（○月、○月） |
| 遊休農地発生防止のための保全管理 | 遊休農地発生防止のための保全管理等を実施する。 | 毎年○回（○月、○月） |
| 畦畔・農用地法面・防風林等の草刈り | 畦畔・農用地法面等の草刈り等を実施する。 | 毎年○回（○月、○月） |
| 施設の適正管理 | 鳥獣害防護柵等の適正管理等、必要な取組を実施する。 | 点検結果に応じて実施時期を決定 |
| （２）①水路 | 水路の草刈り | 水路及び付帯施設（ポンプ場、調整施設等）やその周辺部の草刈りを実施する。 | 毎年○回（○月、○月） |
| 水路の泥上げ | 水路及びポンプ吸水槽等の泥上げを実施する。 | 毎年○月 |
| 施設の適正管理 | ゲート類等の保守管理の徹底等、必要な取組を実施する。 | 点検結果に応じて実施時期を決定 |
| （２）②農道 | 路肩、法面の草刈り | 路肩・法面の草刈りを実施する。 | 毎年○回（○月、○月） |
| 側溝の泥上げ | 点検結果に基づいて、側溝の泥上げを実施する。 | 毎年○月 |
| 施設の適正管理 | 農道の路面維持等、必要な取組を実施する。 | 点検結果に応じて実施時期を決定 |
| （２）③ため池 | ため池の草刈り | 草刈りを実施する。 | 毎年○回（○月、○月） |
| ため池の泥上げ | 点検結果に基づいて、泥上げを実施する。 | 毎年○月 |
| 施設の適正管理 | かんがい期前の付帯施設の清掃・除塵等、必要な取組を実施する。 | 点検結果に応じて実施時期を決定 |
| （３）その他 | （例）鳥獣害防護柵 | 防護策周辺の下草刈りを実施する。 | 毎年○回（○月、○月） |
| （例）防風ネット | 防風ネットの下草刈りを実施する。 | 毎年○回（○月、○月） |
| （例）揚水ポンプ | ポンプ吸水槽の泥上げを実施する。 | 毎年○回（○月、○月） |

※活動計画書（様式1-3号）に記載されている「Ⅲ．活動の計画」に記載している活動項目・実施時期を基に、今後実施可能な保全管理活動計画を記入して下さい。不用な項目（施設）は、削除して下さい。

３．地域の共同活動の実施体制

（１）組織の構成員、意思決定方法

　　１）組織の構成員

　　　記入例）別紙のとおり。

　※既存の参加同意書を利用し「別紙」を作成することも可能。ただし、農業者については、備考に「担い手農家」、「それ以外の農家」を明記する。農業者以外で土地持ち非農家の場合は、備考に「土地持ち非農家」と明記してください。

　　２)意思決定方法

　　　記入例）総会において、議案は特別議決事項を除き、出席した構成員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところとする。

　　　※既存の規約の「総会の議決方法等」の部分を参考に記入して下さい。

（２）構成員の役割分担

（記入例）

該当するところを■に（□→■）してください。（複数の記載もあり）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象施設 | 構成員 | 主な役割 |
| 農用地 | ■担い手農家 | ・畦畔･農用地法面やその周辺部の草刈り又は除草を農家中心に行う。異常気象時の見回りを他の構成員と連携して実施する。・遊休農地の有効活用として、子供会と○○会社と連携し、○○の作付けする。 |
| ■それ以外の農家 |
| □土地持ち非農家 |
| □非農家（一般住民） |
| ■その他（子供会　） |
| ■その他（○○会社） |
| 水路（開水路） | ■担い手農家 | ・通水機能の維持、病虫害発生低減のために、水路やその周辺部の草刈りや除草を行う。・作業は、農業者に加え、非農業者（自治会や子供会）も参加して行う。 |
| ■それ以外の農家 |
| ■土地持ち非農家 |
| ■非農家（一般住民） |
| ■その他（自治会　） |
| ■その他（子供会　） |
| 水路（ﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝ） | ■担い手農家 | ・通水機能の維持のため、ﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝ付帯施設（ポンプ施設、空気弁等）の保全管理、異常気象時の見回りを農家中心に実施する。・ﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝ付帯施設に土砂や雑木等が見られる場合、応急処置を行う。 |
| ■それ以外の農家 |
| □土地持ち非農家 |
| □非農家（一般住民） |
| □その他（　　　　） |
| □その他（　　　　） |
| 農道 | ■担い手農家 | ・一般住民の通行及び農業生産に障害が生じないよう、農道の路肩・法面やその周辺部の草刈り、除草及び枝払いを実施する。・農道側溝の通水機能に障害が生じないよう、側溝の泥上げを実施する。 |
| ■それ以外の農家 |
| ■土地持ち非農家 |
| ■非農家（一般住民） |
| ■その他（自治会　） |
| □その他（　　　　） |
| ため池 | ■担い手農家 | ・機能に障害が生じないよう、ため池やその周辺部の草刈り又は除草を行う。・ため池の貯水機能に障害が生じないよう、ため池の泥上げを実施する。・作業は危険を伴うため、高齢者や子供の参加は見合わせる。 |
| ■それ以外の農家 |
| □土地持ち非農家 |
| □非農家（一般住民） |
| □その他（　　　　） |
| □その他（　　　　） |
| その他施設(鳥獣害防護策) | ■担い手農家 | ・鳥獣被害防止機能が維持できる状態に保全管理するため、防護策周辺の下草刈りや設置した施設の簡易補修等を行う。・鳥獣が関係するため、高齢者や子供の参加は見合わせる。 |
| ■それ以外の農家 |
| □土地持ち非農家 |
| □非農家（一般住民） |
| □その他（　　　　） |
| □その他（　　　　） |
|  |  |  |
|  |  |  |
| その他施設（防風ネット） | ■担い手農家 | ・防風機能が維持できる状態に保全管理するため、防風ネット周辺の下草刈りや設置した施設の簡易補修等を行う。・特に台風等の暴風雨の前には、ネットと支柱の間の緩みや破損の状況を十分に確認する。 |
| ■それ以外の農家 |
| □土地持ち非農家 |
| □非農家（一般住民） |
| □その他（　　　　） |
| □その他（　　　　） |
| その他施設（揚水ポンプ） | ■担い手農家 | ・施設の長寿命化に資するため、ポンプの吸水槽等の泥上げや異常な音・振動の状況確認などのポンプの点検を行う。・部品交換よりも更新した方が安価になるケースもあるため、長寿命化対策として対応することも検討する。 |
| ■それ以外の農家 |
| □土地持ち非農家 |
| □非農家（一般住民） |
| □その他（　　　　） |
| □その他（　　　　） |

４．地域農業の担い手農家の育成・確保

　（１）担い手農家の育成・確保

（記入例）

　　【既に人･農地プランが作成されている場合】

　　　　「別添平成○○年○○月作成の「人･農地プラン」のとおり。」、と記載し、「人･農地プラン」の写しを添付して下さい

　　【人･農地プランが作成されていない場合】

　　　パターン１：既存集落営農組織がある場合

　　　　・既存集落営農組織に地域の小規模農家、兼業農家全てが集落営農組織（○○営農組合）に参画することで、組織を強化する。

　　　　・現状の課題（役員の高齢化、固定化による営農組合の後継者不足、設立時の目的意識の希薄化、経営意欲の低下等）の改善をはかるため、法人化による経営意識の向上、地域の若者や女性の参画による円滑な世代交代の仕組みづくりにより、組織を強化する。

　　　　・近隣の集落営農組織と連携により組織を強化する。

　　　パターン２：個別経営の担い手（中心経営体）が存在する場合

　　　　・担い手の効率的な営農のため、活動組織は農地の利用調整（集積・集約）と施設（用排水路、道路）の保全管理に協力する。

　　　パターン３：集落営農組織も担い手（中心経営体）も存在する場合

　　　　・集落営農組織と個別経営の担い手間の農地の利用調整（集積・集約）や相互の作業受委託により、効率的な営農の展開により地域の担い手を強化する。

　　　パターン４：集落営農組織も担い手（中心経営体）の確保も困難な場合

　　　　・集落外部の担い手（近隣の集落営農組合、個別経営の担い手、農業サービス事業体（ＪＡなど）に水田基幹作業をまとめて委託し、日常管理作業を委託集落側が行い、活動組織は、施設（用排水路、道路）の保全管理に協力する。

（２）農地の利用集積

　　（記入例）

【既に人・農地プランが作成されている場合】

　　　　「別添平成○○年○○月作成の「人･農地プラン」のとおり。」、と記載し、「人･農地プラン」の写しを添付して下さい。

　　【人・農地プランが作成されていない場合】

　　パターン１：既存集落営農組織がある場合

・既存集落営農組織に地域の小規模農家、兼業農家全てが集落営農組織（○○営農組合）に利用集積することで利用調整（集積・集約）する。

・近隣の集落営農組織と連携により広域での利用調整（集積・集約）を図る。

　　　パターン２：地域に個別経営の担い手（中心経営体）が存在する場合

・個別経営の担い手へ農地の利用調整（集積・集約）を図る。

　　　パターン３：地域に集落営農組織も担い手（中心経営体）も存在する場合

・集落営農組織と個別経営の担い手間の農地の利用調整（集積・集約）を図る。

　　　パターン４：地域に集落営農組織も担い手（中心経営体）の確保が困難な場合

・集落外部の担い手（近隣の集落営農組合、個別経営の担い手、農業サービス事業体（ＪＡなど）へ農地の利用調整（集積・集約）を図る。

５．適切な保全管理に向けて取組活動・方策

※地域資源保全管理構想作成後５年程度を見通し、今後の課題、目指すべき姿、そのために取り組むべき活動・方策を記載します。

※方策例として５例示していますが、特にこれにこだわる必要はありません。

※また、具体的記入例についても一例であり、地域の状況により検討して下さい。

|  |
| --- |
| 方策例（１）組織体制の強化や活動の拡大を図るための広域組織化やＮＰＯ法人化 |

＜具体的記入例＞

○組織体制の強化を図る方策

【既に集落営農組織がある場合】

1. 地域の小規模農家、兼業農家全てが集落営農組織（○○営農組合）に参画することで地域の（集落単位の）農業生産体制を整備強化し、集落営農組織との協力と役割分担により、集落ぐるみの保全管理体制の強化を図る。
2. 近隣集落の集落営農組織と連携により地域の農業生産体制を整備強化し、集落営農組織との協力と役割分担により、保全管理体制の強化を図る。

（近隣○○集落の○○営農組合との連携）

1. 近隣集落の集落営農組織と連携により地域の農業生産体制を整備強化し、併せて活動組織も近隣集落と連携（合併）することで集落営農組織との協力と役割分担により、保全管理体制の強化を図る。

（近隣○○集落の○○営農組合と連携、○○活動組織と連携（合併））

1. 地域外（集落外）の農業生産法人や担い手（認定農業者）と連携により地域の農業生産体制を整備強化し、集落営農組織、農業生産法人あるいは担い手との協力と役割分担により保全管理体制の強化を図る。

（○○生産法人、担い手○○○○氏との連携）

【地域に担い手（中心経営体）が存在する場合】

1. 担い手（中心経営体）との協力・役割分担により保全管理を図る。

（○○生産法人、担い手○○○○氏との連携）

1. 担い手（中心経営体）に更なる農地集積・集約を進め地域の農業生産体制を整備強化し、担い手との協力・役割分担により保全管理を図る。

（○○生産法人、担い手○○○○氏との連携）

【集落営農組織も担い手（中心経営体）も存在する場合】

1. 農地中間管理事業を活用し、農地の集約を進め地域の農業生産体制を整備強化し、集落営農組織、担い手との協力と役割分担により保全管理体制の強化を図る。

【集落営農組織も担い手（中心経営体）もない場合】

1. 地域の小規模農家、兼業農家全てが参画する集落営農組織を設立し、地域の（集落単位の）農業生産体制を整備強化し、集落営農組織との協力と役割分担により、集落ぐるみの保全管理体制の強化を図る。

1. 「人・農地プラン」を策定し、今後の地域の中心となる担い手（中心経営体）との協力・役割分担により保全管理の強化を図る。
2. 地域外（集落外）の農業生産法人や担い手（認定農業者）へ農地集積を図り、地域外の経営体との協力・役割分担により保全管理の強化を図る。（○○生産法人、担い手○○○○氏との連携）

＜具体的記入例＞

○広域組織化やＮＰＯ法人化

1. 規模が小さく高齢化が進行している活動組織においては、事務処理が困難な状況であったが、広域化することにより、事務の簡素化が図られること、また、都市と農村の交流活動が促進され、地域の活性化が図られこと、多様な参加者な主体が増えることにより保全管理体制の強化が図られることなどから、広域組織化の検討を行う。
2. 活動組織のＮＰＯ法人化

活動組織の広域化に伴い、ＮＰＯ法人化とすることで、保全管理体制の強化を図る。

|  |
| --- |
| 方策例（２）農地や施設、地域環境を保全するための農地周辺部の活動拡大や遊休農地の有効利用 |

＜具体的記入例＞

○農地周辺部の活動拡大

　　① 農地周辺部の林地等の整備保全を別事業（○○○○事業）により実施し、地域環境の保全に併せ獣害対策の一環とする事で、農用地及び施設の保全を図る。

＜具体的記入例＞

○遊休農地の有効利用

① 遊休農地で○○○を栽培することで活用し、農地や地域環境の保全をはかる。

　② 遊休農地で○○○を栽培することで活用し、農地や地域環境の保全をはかり、併せて地域の特産品としての出荷により農業生産体制の強化を図る。

|  |
| --- |
| 方策例（３）地域を守る取組の魅力を情報発信する活動、活動への新たな参画者を募る活動 |

　＜具体的記入例＞

1. 活動組織ＨＰを活用し、取組内容の紹介や地域の魅力を発信し、外部の活動参画者を募集することで、保全管理活動の継続や強化を図る。
2. 地域内の一般住民に対して、保全管理活動が地域を守る活動であることを広報紙やＨＰ等で発信することで、これまで活動に参加されていない人々の参加を促し、保全管理活動の継続や強化を図る。

|  |
| --- |
| 方策例（４）地域の景観・環境の維持等、地域資源の魅力を高め、関心を高める活動 |

＜具体的記入例＞

1. 地域の景観・環境を維持することで、地域の魅力として情報発信することで地域外の人々や、の関心を高めこれまで活動に参加されていない人々の参加を促し、保全管理活動の継続や強化を図る。

|  |
| --- |
| 　方策例（５）保全管理の省力化のための簡易な基盤整備や機械化、保全管理に必要な施設整備 |

＜具体的記入例＞

1. 畦畔除去による区画拡大により、農用地の条件を向上することで担い手への集積を進め、地域の農業生産体制を整備強化し、役割分担により、集落ぐるみの保全管理体制の強化を図る。

|  |
| --- |
| ※５つの方策例(様式1-4に基づく)を明記しましたが、それ以外の視点として、以下のようなキーワードを参考に作成していだくことも可能です。５年後を見越して、また現在の課題に対して、取組可能と思われるものは、積極的に記載して下さい。○企業連携○都市住民との交流○田んぼアートなどのイベント（都市住民との交流と重なるかもしれませんが）○組織の広域化またはＮＰＯ法人化○農作物のブランド化、６次産業化○中山間地域直接支払、環境保全農業直接支払との連携○鳥獣被害対策○田んぼダムによる防災･減災○女性の参画 |